

～出席者数400名超え!! 3時間に亘り大盛況～

## 平成25年山桜会新年会のご報告



平成25年新年会実行委員長

林 妙子 (小86期)

山桜会新年会にご協力下さった皆様、本当にありがとうございます。皆様のお陰を持ちまして、参加して頂いた皆様方、沢山の方から笑顔で「ありがとう!楽しかった!また、来るよ。」とお声がけて頂きました。今回実行委員会がこだわったのは、会場中の全員が一つになれるイベントにすることでした。始めにテーマを考え、一つ一つ丁寧に催し内容を練り上げていきました。最大のポイントとなったのは、会員交流委員



興奮、絶賛 綾戸智恵コンサート

長の寶来郁子氏が提案した、中央にステージを持ってくるというアイデアでした。そこでの綾戸智恵さんのステージ。そして、偕行社校歌と学院歌は、山桜会員の武木綿子さんによる生演奏と大変豪華な演出。全員参加のジャンケン大会は大変盛り上がりしました。

景品を提供して下さった、追手門『のれん会』の皆様にも大変感謝しております。追手門ファミリーの個性豊かな力が一つになって、一体感のある大変有意義な時間を楽しく過ごせたことに改めて感謝いたします。



川原理事長



坂井学院長



70歳同窓会



林 妙子さん 謝辞



岡本昭治さん 大阪締め

## 「凌雲の志」は自信から

セレッソ大阪のサッカースクール時代から「天才」と称され、対戦相手や観客が予想もつかないボールコントロールでファンを魅了する彼がもつ「自信」。それは到達点に向けた思いと裏打ちされた経験から生まれる。そして感謝の心は決して忘れない・・・



©OSAKA F.C.



©OSAKA F.C.

## 柿谷曜一朗選手への質問

## 1 追手門でお世話になった先生は? (その先生との心に残る思い出は?)

やはり、大橋先生ですね。3年間担任していただきましたし、何かと気を使ってくれていたと思います。土曜日も授業があったのですが、サッカーを優先させてくださいました。当時はさほど感じていませんでしたが(すみません)、今考えるとありがたかったなと思います。

## 2 今一番こだわっていることは?

J1リーグの試合でセレッソが勝利するために得点を獲ることです。フォワードで使ってもらっている以上、「ゴールを挙げる」というところはこだわっています。

## 3 目標にしているサッカー選手は?

これはもう何と言ってもセレッソ大阪の森島寛晃さん(現セレッソ大阪アンバサダー)です。セレッソの先輩の大久保嘉人さん(現川崎フロンターレ)もずっと憧れの存在ですね。

## 4 サッカーを始めたきっかけは?

幼稚園のとき、J1リーグの開幕戦をテレビで見て、親に「これがやりたい」といったことがきっかけで、セレッソ大阪のサッカースクールに通わせてもらうようになりました。

## 5 自分自慢を思いっきりしてみてください。

自分には100パーセント自信があります。「サッカーではだれにも負けない」そう思って子供のころからやってきました。「オレはオレでみんなと違う。プロに早く行くんや」って中学に入学したころから常に思っていました。実際、高校2年になるときにプロになりました。プロサッカー選手としてはまだまだですが、今年から自分にとって、またクラブにとって大切な番号「8」をもらいました。これほどの自慢はありません。

## 6 将来の夢は?

「将来」と言うほど先のことで、具体的な夢や目標はまだないですね。今、とにかく優勝したい。セレッソ大阪という、自分を育ててくれたチームにタイトルをもたらしたい。それが一番の夢です。そのためにも毎試合活躍したいと思います。

柿谷 曜一朗  
(かきたに よういちろう)

大手前中学第56期生、  
平成17年卒。  
J1リーグセレッソ大阪所属。

中2～高1までの3年間担任をさせていただきました。柿谷君は非常にクラスに影響のある生徒で、柿谷君の動き一つでクラスも動いていたように思います。今年から森島選手をはじめとするミスターセレッソの証である背番号『8』を背負い、セレッソのみならず日本サッカー界に影響を与える選手になる事を期待しています。また、一日も早くA代表で活躍され、ブラジルワールドカップのピッチでゴールを挙げている姿を楽しみにしています。

追手門学院高等学校 教諭  
大橋 忠仁